

中日ニュース

シネスコ版

道新 No. 207 18やくも冬江度一れ暖 37x (本編トアへ追加)

高知新 No. 270 本編同い

新愛媛 No. 118

No. 455 37.10. 5

甲新 No. 131 18やくもト体ムド - 初春体育大会 - 24 - 129 (本編トアへ追加)

一、東洋一のつり橋

——若戸大橋・福岡

洞海湾をまたいで、若松市と戸畑市を結ぶ若戸大橋は、三年の歳月と五十一億の巨費を投じてこのほど完成。その開通式が去る九月二十六日盛大に行われました。

大橋は、東洋一といわれ、世界でも六番目に当る大きなもの。それもすべてが「日本製」でまかなわれており、わが国土木工学の水準の高さを示しています。やがて生まれる「北九州市」のガスガイとして大橋は文字通り産業発展のかけ橋となることでしょう。

一、はく来品がやって来た

——東京・横浜・埼玉・名古屋

この十月から、我国も輸入品のワクを八十八%に抵げることで晴れて国際市場の仲間入りをする事になりました。

デパートでは早くも専門に舶来品コーナーをもうけてとかく舶来ムードに弱いといわれる日本人相手にすさまじい攻勢です。わけても化粧品に至っては戦国模様。舶来、国産入り乱れてPR合戦を展開。夢見る化粧品とはウラハラにシレッと極めていきます。これでは国産危しと援護作戦にのり出したアル団体、宣伝カーを操り出している国産品PRも、これが唯一の防衛策とあつてはお寒い話し。

この様な中で今ではすっかりおなじみになったインスタントコーヒー、アル外国メーカーでは青い目の経営者が乗り込んで陣頭指揮、去年の七月自由化以来一年で早くも勝負がついたといわれてはこれから先が思いやられるのです。

かくて銷国市場といわれた日本市場が開放されて、一せいに諸外国の商品と競争する日本の商品にはけわしい前途がひかえている様です。

アイモ風土記

一、川は治められた

——大井川

南アルプスから流れだし駿河湾に注ぐ大井川は、大きな落差と複雑な地形から一雨降って洪水となる手に負えない荒れ川。「箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井川」とうたわれたように、かつて家康はこの荒れ川を、江戸城の防塞として利用し、橋を架けることを禁止しました。

だが、この稀代の荒れ川も、その性質を巧みに生かした電源開発によって面目を一新。このほど畑薙第一発電所の完成によって、大井川の総合開発は、一応完結することになったのです。

けわしい山に囲まれ、陸の孤島だった上流の井川村も、ダム建設によって大きく生れかわり、新しい観光地をめざし、準備がすすめられています。

電源開発は川のもつ暴威を豊かな恩恵におきかえ、流域一帯は今、新しい時代をむかえようとしています。

206
12x

377x

239x

90x